

あけましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、
お揃いで新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。昨年は連
合会の行事と運営に大勢の皆様
の深い理解とご協力を賜り厚く
お礼申し上げます。

昨年松原地区の特色を活か
した(子ども、子育て世代、年
配者、スポーツ)行事の工夫を
いたしました。7月の「いづ
ら祭」は子ども、大人の氣勢が
笑顔で楽しめる内容で松原のパ
ワーを感じました。10月の松本
市市民体育大会では競技種目と
総合で好成绩でした。慰労会は
大勢の参加者と余興で地区の結
束力を感じました。11月の文化
祭は親子三世代、世代間交流で
楽しめるように行いました。他
の行事も地区交流の場と明るさ
づくりに役立ったかと思いま
す。改めて支えていただいた皆
様、大変ありがとうございます。

松原地区の環境、構成年齢の
変化に対応出来る地域づくり



松原かわら版

世帯数 1,197 戸
人口 3,016 人
(平成 30.1.1 現在)



は、5年10年後を見据えて松原
地区内、近隣、松本市との連携
が更に重要と考えます。子ども、
子育て世代、年配者の「明るい
笑顔」が今後も増えて安心安全
な松原地区に一步前進すればと
思います。

町会連合会は、皆様との信頼
関係と結束力が一番大切だと思
います。本年も町会連合会の運
営につきましてご支援とご協力
をお願いし、皆様の健康とご多
幸を心からお祈り申し上げ新年
のご挨拶とさせていただきます。



12月9日
しめ縄作り
講座



1月7日
三九郎

1月7日
育成会
まゆ玉作り



子ども見守り隊

小学生の登下校時に、黄緑色の帽子とベストを身に着け、交差点や横断歩道で交通安全の活動をしてくださっているボランティアの皆さんです。見かけたら、あいさつしましょう。

公園清掃ボランティア

松原中央公園や松原モールの清掃をしてくださっているボランティアの皆さんです。子どもたちが気持ちよく遊べるよう、せせらぎの清掃や草刈り等大変な作業をしています。

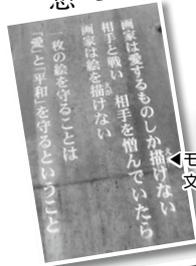
出来事

- 11月21日 新そばを楽しむ会 (80名)
◆今年も有志がそば打ちの腕前を披露
- 11月27日 松本伝統の押絵で干支作り講座
- 12月1日 明善中学校音の花束コンサート (全校生徒と地域の皆さん)
◆ジャズサクソの丸山高秀さんが演奏
- 12月19日 ニュースポーツ体験会 (50名)
◆珍しくて楽しいスポーツを体験
健康づくり推進員による体力測定も開催



地区人権視察研修

12月18日天候にも恵まれ、上田の無言館に行つてまいりました。無言館をご存知ですか。1997年に開設された戦没画学生の遺作、遺品を展示している美術館です。戦争によって志半ばで筆を折られた学生の想いが、絵にこめられていきます。「家族」という絵をみました。家族団欒のステキな絵です。ふと絵の横に作者の兄談があり『うちには貧しい家で、これは弟の空想の絵だ』もし戦争がなければ、空想



モニュメントの文章から



ではなく現実の絵となったのでは？
様々な絵の中に無言館館長の詩「あなたを知らない」があり、胸にジーンとききました。
まだ行かれていない方、ぜひ絵や詩をご覧ください。二度とこのような方達を出さないために…。
(参加者)

食生活改善推進員主催 食育視察研修

朝の雪と寒さの中、飯田市の旭松食品へと向かいました。凍み豆腐は、こんな寒さの中でつるされていったんだ!! (笑) と思ひ浮かべながら…。
一日に50万切れ製造されるこうや豆腐は「高たんぱく・低糖」で、「脂質異常・糖尿尿病」の改善が見られたというお話がありました。私にとって理想的な食材！改めて食生活を見直す機会になりました。工場見学と説明の後には、8種

類もの試食が並べられ大変おいしくいただきました。中でも「こうや豆腐のマリネ」が一番人気でした。
お腹も一杯満たされ、次は養命酒健康の森へ。暖かい季節にもう一度訪れ、ゆっくり散策したい場所でした。養命酒の試飲もあり、こうや豆腐と合わせて今日一日で健康になれたような気がします。

楽しく、且つ勉強になった研修となりました。
(編集委員)



まっもと

市民祭顕彰



全日本グラススキー選手権大会
ジュニアⅢ女子回転・大回転1位
小4 澤村玲奈さん

11月、市民祭において顕彰された第7町会の澤村玲奈さんにお話しを伺いました。
お父さんに抱っこされ、スキーを始めたのは2才の時。2年生からポール大会に出場し、3年生の春、雪不足で春スキーが出来なかったのがきっかけとなり、グラススキー※を始めた。グラススキーは、冬のスキーの技術向上につながる

と同時に「高原の風を感じながら滑る爽快感があつて、スキーとは別の楽しさがある」という。
冬は菅平高原、夏は斑尾高原まで、毎週土・日曜は1時間半かけて練習に向かう。家を出る時はまだ暗い早朝だ。「止めたいと思ったことはない」という。一つだけ辛いことは「グラススキーは雨の日

でもやるので、その時は濡れて泥だらけ！後で汚れたグラススキーを洗うのが大変」とクスツと笑う。「今シーズンの目標は、冬のスキー大会の県内公式戦である三大少年大会で表彰台に上ること」と目を輝かす。

スキーの他にピアノと習字も習い、毎日家でのトレーニングも欠かさない頑張り屋の玲奈さん。それを支えるご両親は「好きなことだから！」と親心を覗かせた。「お父さんには運転してもらい、お母さんには朝早いのお弁当を作ってもらい、すごく感謝している。」と話す。

ニコニコと、素直に丁寧に答えてくれる姿に、応援したい気持ち湧いてきました。いろいろなこと挑戦し、可能性を秘めた玲奈さんの将来が楽しみです。

※グラススキーはキャタピラ式の専用のスキーで草の斜面を滑り降りるスポーツ
(編集委員)



コラム 北の旅人

昨年は、会社の売り上げを伸ばすことだけ考えて良く働きました。家庭はそっちのけで、年が明けて、さて今年は何を目標にして生きて行こうか?…生涯現役は通すが、そろそろ仕事は半分にしても良い歳かなとも思ったが? 昨年日本の世界に誇れる大企業たちが、恥じるべき不祥事を起こして、皆が驚きと切なさを感じたはずで。知と技術を力に終戦から復興・経済成長を遂げてきた日本の価値を、おもてなしと観光で売るのが、不安です…

温暖化の影響か、去年は降るべき時に降らない雨、秋晴れのはずが長雨で、好きな秋のキノコは、ほんの数本でした。今年、夏から足・腰を少しずつ鍛えて、9月からの2か月間は仕事を控え、山に通いたいなあ。それを目標にして一年頑張ろう。自分のやりたいことを自分で決める事。それが一番ストレスが溜まらないのかもかもしれません。
今年一年、松原の老若男女の皆さんが、明るく元気で過ごされますよう祈念しています。
(編集委員)